

成果目標

3

森林資源の循環利用を通じた持続可能な社会の実現への寄与

5

森林資源の循環利用の促進

成果指標⑤

約21億7千万 m^3 → 約25億5千万 m^3

林道等の林業基盤の整備により、木材の安定的かつ効率的な供給に資することが可能となる育成林の資源量を増加させます。併せて、既設林道については、改築・改良により質的な向上を図ります。



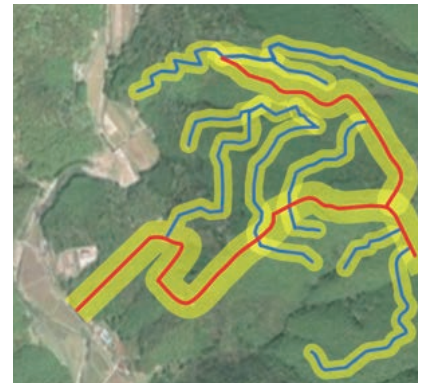
林道、林業専用道、森林作業道の適切な組合せによる整備



林業専用道



森林作業道



【イメージ】路網から一定の範囲内の育成林の資源量を評価(赤:林道、青:森林作業道、黄:利用可能な森林)

※目標値の算出の考え方

令和4年度森林資源現況調査から推計した森林資源増加量と令和6年～令和10年における全国森林計画の路網開設計画延長等を用いて5年後の供給可能資源量を算出している。

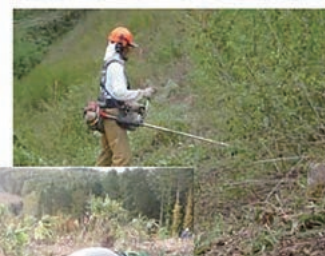
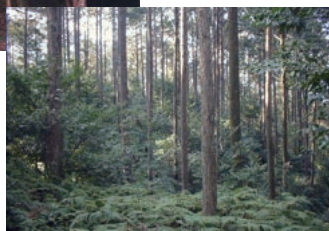
6

持続的な森林経営の推進

成果指標⑥

35%

人工林について主伐後の再造林や間伐を適切に実施することにより、国土の保全や水源の涵養等の多面的機能を発揮する健全な森林への誘導を進めます。



※目標値の算出の考え方

全国森林計画から推計した令和6年～令和20年の再造林及び間伐の計画量を基に、令和6年～令和10年に達成すべき誘導率を算出している。(令和20年の進捗率を100%としている)